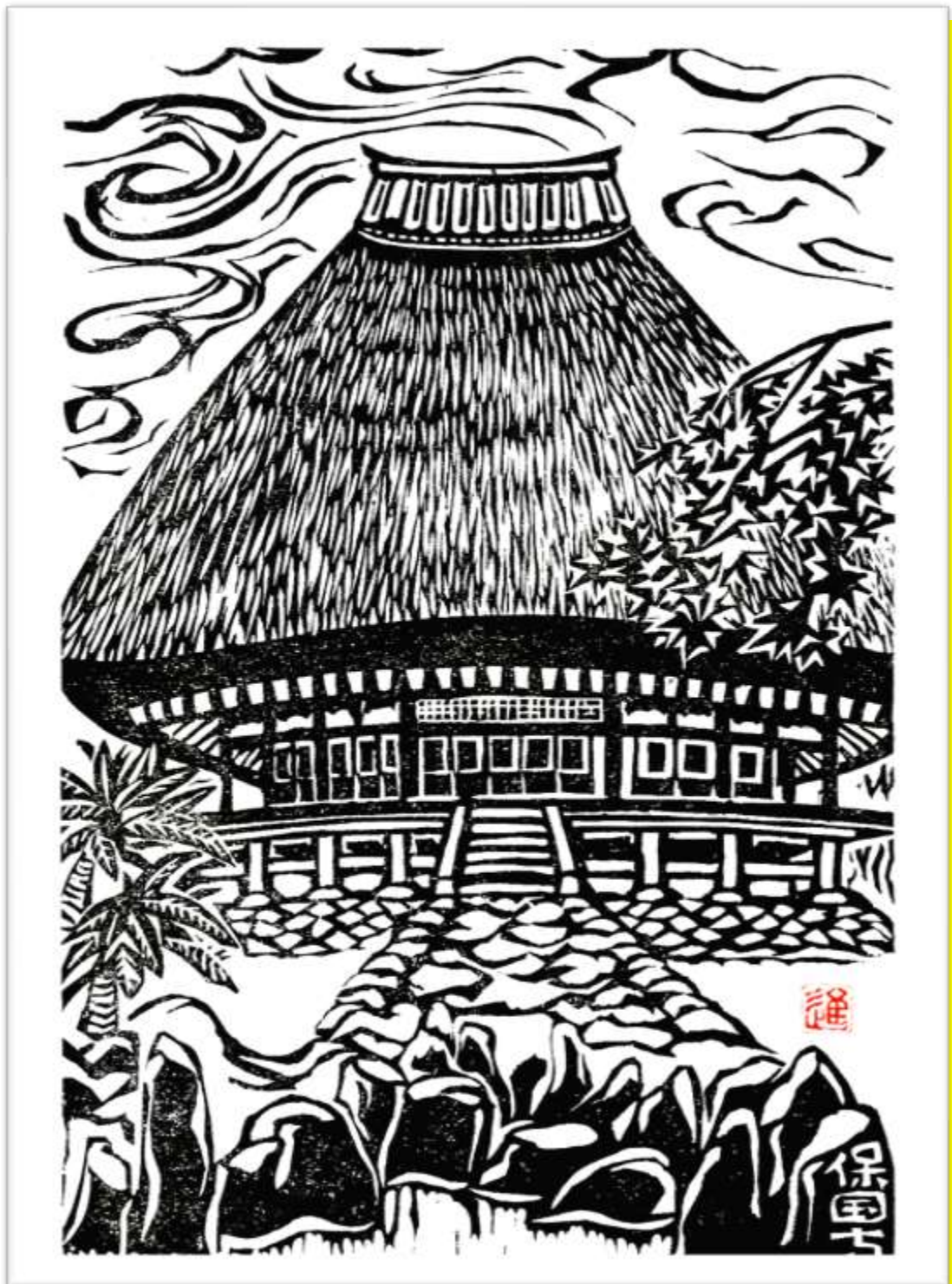




# SAIJO



No. 545  
2022-2023



テーマ 「 We Serve (我々は奉仕する) 」  
メッセージ 「 Together We Can 」 (皆でやればできる)



国際会長ピン



スローガン 「 感謝を込めてウィサーブ 」  
キーワード 「 不易流行 」



ガバナーピン



スローガン 「 和の心で WE SERVE 」  
キーワード 「 躍進 」



【今月の会長メッセージ】

コロナに行動を封じられるのもういいでしょう！  
第62代は後にも先にもこの1年、さあ皆さん、記憶に残る事業を一緒に考えていきましょう。

■ 4ゾーン合同例会開催並びに地区役員・地区委員例会訪問 ■ 会計 高橋 学

去る9月21日に、「石鎚神社会館三階大広間」にて3年振りの合同例会が開催されました。合同例会には、「関野元地区ガバナー・名誉顧問」をはじめ「佐伯2RC」や地区委員6名から例会訪問を受け、大変賑やかな合同例会が始まりました。

ZCや来賓の方々から、今年度のガバナー重点アクティビティ「子ども食堂への支援」や「4Z合同アクティビティとしての海岸清掃」並びに「災害時におけるボランティア活動支援に関する協定書」など、実施・計画についての説明がありました。

会議終了後には、久しぶりの懇親会も開催され4Z 各クラブ会員等との懇親が深まった合同例会でした。コロナ禍の中での感染防止対策を施しての開催に感謝・感謝です。





早朝清掃奉仕 ご協力を有難うございました。

環境保全・保健福祉委員会 委員長 武智正人

去る10月4日、トリム公園での早朝例会に先立ち、清掃奉仕を行いました。『10月8日はライオンズディ、その近日に社会奉仕を行おう!』という趣旨です。

6:00清掃開始の為、5:30に着けば完璧だろうと一番乗りのイメージで到着したところ、現地では既に会長始め執行部のメンバーが会場設営を行っていました。流石。その後も続々と集まるアクティビティジャンパーの姿に仲間意識と心強さを感じました。6:00、会長挨拶を以て清掃開始。15分後には予定地の清掃を終え加茂川の河原の清掃に。されど、さほどゴミは無い。地域の方が清掃されたのかな、台風で流されたのかな、それでも一応の成果を挙げ、「お宝」を前に記念撮影。心に爽やかな汗を感じて、清掃終了。続く例会のサクサクとした心地良い進行を楽しみながら、加茂川の空気を胸いっぱい吸い込みました。例会後はプチ委員会に。「次は献血の準備で事務局へ集合ね。」その場でもいろんなアイデアや発言をトントンと戴き、感謝、感謝です。ホント気持ちいい朝。その後、解散。トリム公園は瞬く間に無人に…。まさに祭りの後の感一入でした。メンバーの皆さま、清掃奉仕にご協力を有難うございました。「ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体である」事を常に念頭に置いて今後も委員会活動を行いたいと思っています。ご協力をお願い申し上げます。

環境保全・保健福祉委員 高田潤一

■ 実施日 2022年10月11日(火) 10:00～16:00

■ 献血実績 来場者：134人 400ml献血：119人

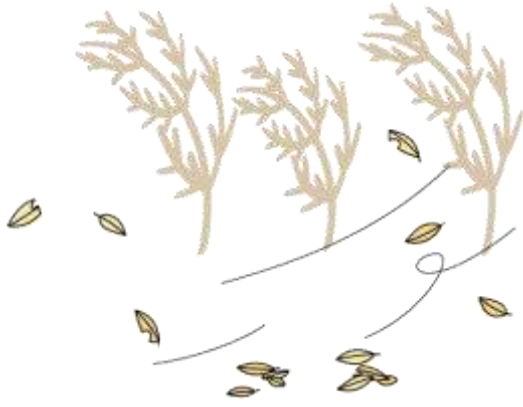
天高く馬肥ゆる秋晴れの中、献血奉仕活動を実施しました。準備にあたり、奉仕活動をPRできるようライオンズマーク入り手提げにお礼の品と感謝のお手紙を添えるとともに、グランフジ西条店へ来店中の客さまへの1時間おきの場内アナウンスや、委員会メンバーから西条市消防他へ献血への協力をお願いした結果、119人の方に献血を実施していただきました。コロナ禍で、十分な奉仕活動ができない中、西条市はじめ、地域の皆さまの善意と関係者皆さまのご協力の賜物と深く感謝申し上げます。大変お疲れさまでした。



会場は今回と同じです。  
ご協力をお願いします。

次回の献血は…  
令和5年  
4月19日(水)です。





さくふう  
朔風

終身会員 神野顕彰

世の中が疫病流行禍で分断、孤立。人々の不安は募るばかりの令和3年・2021の秋風にのり新潟県柏崎で住職をしている大学時代の友人から懐かしい声が届く。「永年にわたる保護司の活動そして、県連会長等の奉仕を認められ叙勲の栄を授かった。されどこのコロナ禍中、祝いの席を持つことを自分はもとより寺の役員さん等皆々躊躇している。…」ということである。

私は心からなる祝意をもって「おめでとう。その時は是非とも案内を頼む。共通の友人達と是非祝いたいものだ。」と返事するが、さて何時開催できるか全く予測出来ない。佳きにつけ悪しきにつけヒト、モノ、カネの動きは、コロナウイルスの活発さと真逆の停滞と澁みの中、人の心も腐ろうとしている。

そして、年を越した本年初頭より愚かで悩ましい北の外地での戦争勃発。正義の存在不明の時代となりゆく8月の熱風にのせ、叙勲祝賀の席を10月に開催との案内が届く。

すぐさま、共通の友人に「行こうぜ!!」と声掛けした。その彼は当時、全国大会でも有力校であった母校の空手部主将をつとめた猛者。今は埼玉県内の素敵な住職である。

そんな彼をはじめお互い近くに来れば声を掛け合い、旧交を温めながら今日を迎える。

かの新潟は北朝鮮拉致問題騒然の頃、私どもの子供とその友人達を伴い柏崎の拉致現場海岸を臨むホテルに一泊、その翌日は[じょんのび村]という第3セクターで設立された温泉宿で賑やかに楽しんだことを今、懐かしく思い出している。

さて、叙勲祝賀の席がもたれる新潟の名物は水と美味しいお米を基に作るお酒、寿司、蕎麦、そして河合継之助と天才政治家、故田中角栄総理である、と私は思っている。

今回の2泊3日のお祝い新潟行は、松山空港～伊丹空港～新潟空港と初めて飛行機で往復。

片道約2時間の飛行時間である。機内から右手に映る日本一の富士山が印象的であった。

10/11新潟駅のホテルに午後3時過ぎチェックイン。埼玉の友人と新潟の夜を、日本酒の美味しさに酔いしれ明日の祝賀の前祝いとする。

翌朝、特急電車で柏崎の祝賀会場に到着した昼下がり、満面笑みで迎えてくれた友の表情が晴れ晴れしい。「おめでとう。そして、ごくろうさま」とその栄誉を祝す。

寄り添う奥さんの笑顔は大黒さん。祝宴会場は、喜びの笑顔満載で瞬く間に万歳三唱をもってお開きとなる。賓客をお送りした後、主催した寺の役員スタッフにねぎらいの言葉をもってめでたく散会。

そして、私以外は全て名古屋より東の先輩後輩学友たち十余名は、山上の温泉宿「雲海」に投宿。大いに飲み談論風発の二次会の開宴となる。殊に福島会津の先輩の皇軍、賊軍と呼ばれて戦った明治維新の際、会津は賊軍と呼ばれたことを未だ納得もしないし、呼ばれる筋合いでない、との言葉が先般、地元選出の国会議員が凶弾に倒れた山口出身の元総理を国賊と言い放ち物議をかもしたことが、妙に重なり「勝てば官軍、負ければ賊軍」となる戦争の愚かさや欺瞞を思い知る。

その夜、我々3名に後輩1名を交えた4人が頭を揃えて爆睡と思いきや、後輩のいびきに眠れぬ夜を過ごした空手部の猛者は、朝風呂の窓下に浮ぶ雲海の絶景を眺めゆったりとすることも無く、ボヤキしきりの朝食に一同苦笑いの中で美味しい朝ごはんを満腹。又の再会を約しつつ先輩、後輩を見送った後、私達同輩3名の最終日が始まる。

叙勲の栄を賜った友の運転する車で錦鯉養殖の里、小千谷市の「へぎ蕎麦」に舌鼓を打ち、故田中角栄総理目白御殿の鯉談議そして、この地ゆかりの河合継之助や山本五十六海軍大将の記念館を訪れ、

近代日本の立役者たちの思いに心遊ばす。その夜は柏崎市内の創業百余年という老舗割烹で最後の晚餐。女将と若女将の母子がコロナ禍で経営苦境に陥ったこと、私達のこれまでの労苦や現況、そして、これからの厳しき時代を如何に乗り越えるか。酒と満腹のせい、そして妙案も出ずブルボン製菓本社横のホテルに泊。翌朝の14日新潟空港まで送ってもらい、午後3時に帰寺。

明日は2年間だんじり屋台運行休止となった、伊曾乃神社西条祭り統一運営の出御祭が午前4時半開始。私も2年間参列でき得なかったが、今年は参列の運びとなった。有難いことである。

そして、日本晴れとなる伊曾乃宮の宮出しの幕は切って落とされた。祭りに興じる人々の笑顔と祭囃子の音や声は生きる喜びに溢れんばかりの風景となった。

新ためて連綿と日本の国に継承されてきた、お祭りの大事さを思い知る。老若男女子供たち知るも知らぬもこだわりなく、八百万の神々の御前に感謝と生きる喜びを爆発させつつ、新たな出会いと感動は、すなわち新たな力と発想を生み出すエネルギーとなる。

まさに、雨に洗われ風に磨かれ、より清新なる品格をもたらす原動力となってもらいたい。

常日ごろ私は、風の便りでもいいから明るい話を聞きたいものだと思っている。されど、疫病と戦争、自由のない体制が強化され人々の不安は募る一途である。

又、我が国の根幹を揺るがす高齢少子化の大問題に、政治家諸氏の施策にその提言をみる事がほとんどない。何故なんだろう神風が吹くとも思っているのだろうか。

そんな中での先月、貴クラブ会報誌の新年号から昔懐かしい橘の版画家による表紙で彩られた8月号までを拝受御礼感謝。西条ライオンズクラブの美風に触れ、有難く懐かしく会員諸氏の姿を思い浮かべながら、無沙汰失礼の限りをご寛恕頂く次第である。

やがて吹き来る朔風(北風)に負けぬ智慧と耐力を育みつつ、より質の高い循環型社会への移行に取り組み和風を誇りとする、日本社会となっていくことを願う事しきりである。

私は、「モノ言えは唇寒し秋の風」である。貴クラブの御隆昌と会員諸氏のご活躍を祈念し、吾が近況を「朔風」にのせて紙面を汚すのみとなりましたこと深謝専一。 合掌 拝



#### 青少年育成事業

#### 国際平和ポスターコンテスト 応募作品展示のご案内

西条市内3校の5年生、6年生を対象に行った平和ポスターコンテストには17作品の応募をいただきました。作品に込められた「平和に対する作者の想い」を感じていただきたいと思います。

- 展示期間 2022年10月27日(木)~11月9日(水)
- 展示場所 西条市立西条図書館1Fロビー



## No. 6 明比昭治

- Q)健康維持の為に実践していることはなんですか  
A)朝の散歩 6,000 歩
- Q)趣味は何ですか  
A)美術鑑賞
- Q)旅行の目的は  
A)町づくり散見
- Q)これから行ってみたい場所は(国内外を問わず)  
A)アフリカ
- Q)おこづかいの使い道は  
A)食事
- Q)好きな作家は  
A)司馬遼太郎
- Q)座右の銘は  
A)『礎を築く』

## No. 7 明比紳一郎

- Q)健康維持の為に実践していることはなんですか  
A)毎朝のラジオ体操・フィットネスバイク  
サプリメント
- Q)趣味は何ですか  
A)バラの栽培
- Q)これから行ってみたい場所は(国内外を問わず)  
A)北海道・東北地方
- Q)おこづかいの使い道は  
A)孫へのプレゼント代
- Q)運転免許証を返納しますか  
A)強制返納させられそう…(^\_^;
- Q)好きな作家は?  
A)山本周吾郎
- Q)座右の銘は  
A)『敬天愛人』



## 編集後記



あの顔、この顔、どの顔も笑顔でいっぱい。  
待ちに待った西条祭りが終わりました。朝晩がめっきり冷え込み出しました。  
「秋の夜の白玉の酒は静かに飲むべかりけり」  
ゆっくりと西条ライオンズクラブ広報誌を読んでみませんか。

MC・広報委員 村上公明

発行者 会長 伊藤 稔  
幹事 高橋 学

[MC・地区誌編集委員会]

委員長/副委員長 小野雅志/盛實正人  
編集委員 越智英明・村上公明・寺川治美  
明比紳一郎・清水泰雅

例会日 毎月 第1・第3火曜日(12:30~13:30)

例会場 西条商工会館

発行 西条ライオンズクラブ事務局

印刷 プリントワールド ONO

## 西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8

西条商工会館1F

TEL(0897)56-3980

FAX(0897)56-9251

E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

ホームページ http://saijo-lions.jp

facebook http://facebook.com/saijo.lions/